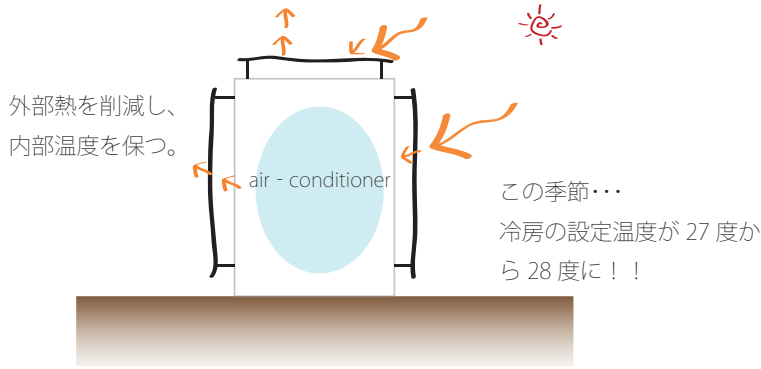


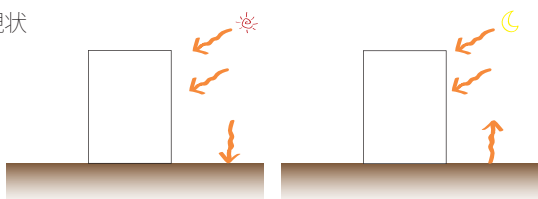
■ 季節の変化による断熱層の役割・効果

ヒートアイランド根源を緩める事で間接的に人々の生活に入り込む。

断熱層の空気熱により、建物内部の人々に対して冷暖房の温度を緩めるといった影響を与える。
その影響が建物から出る熱エネルギーを減少させる。

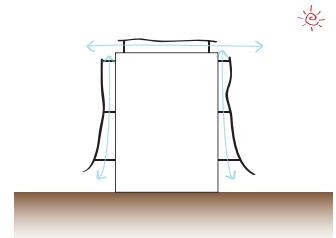


現状

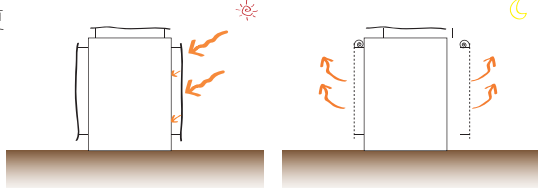


昼間、建物にたまった熱が、時間をかけて夜放出される。
→夜でも暑い原因。

■ 気圧に変化を起こす
蓄熱する事で気圧に変化が起
こり風がおとるようになる。



夏

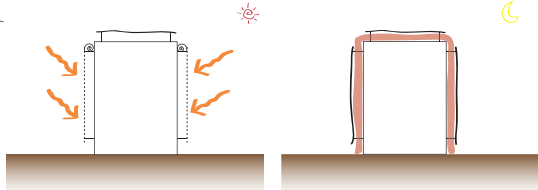


昼間 直射日光を防ぎ熱入射量を減らすことで
冷房負荷低減し、躯体自体の蓄熱量を低減する。

夜間 蓄熱量を低減できたため、夜の放熱を抑
え、翌日の冷房負荷を低減する。

外：放熱量が減る。
内：蓄熱量が減る。

冬



昼間 躯体に熱を蓄熱させる。

夜間 夜の放熱を抑える。

外：放熱量が減る。
内：蓄熱量が増え断熱効果。

■ 街並みの変化



夜のライトアップ 手作りでアレンジされた布

看板になる。

屋根・庇代わり

